

家畜の改良は

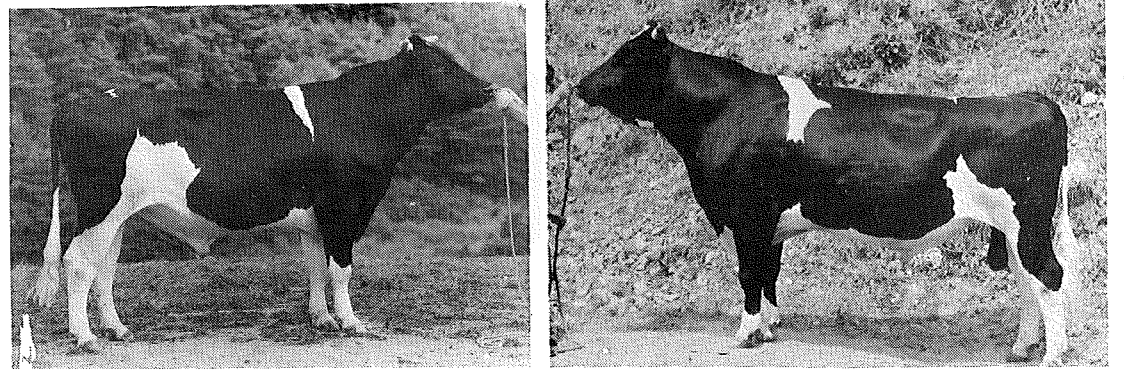
あなたが飼っている それに 月みちて さらに 次回に このこと
 飼っている それに 月みちて さらに 次回に このこと
 め す それに 月みちて さらに 次回に このこと
 の美点欠点を知り、を選んで交配し、をよく観察し、をお互いに積み重ね、を決定する。だといわれています。

家畜改良事業団は

盛岡・前橋・熊本そして岡山の 四センターに
 選びぬかれた 種雄牛130頭 を繁養し
 みなさんの ご希望に お応えしたいと願っています。

岡山種雄牛センターは

岡山県が輸入し 現在 全国的に活躍している
 オークリッジス コンテスター のほかに
 25頭の種雄牛を繁養し 最近 セジス も加えました。
 ご視察を お待ち申しております。



J-38 ノース パーク アイコール テルスター J-39 セジス ルンド フォーブス

社団法人 家畜改良事業団 岡山種雄牛センター
 理事長 大坪 藤 市



岡山県畜産会創立二十周年を迎えて

社団法人 岡山県畜産会
 会長 花尾 省 治

本会は昭和三十年創立以来、すでに二十年を経過しました。その間、畜産指導団体として紆余曲折はありましたが、年々事業内容も拡充強化されまして、県畜産行政の補完的役割を果して参りましたことは、一重に県並びに本会々員団体はもとより各市町村、農協その他各関係者のご支援、ご協力の賜でありまして、この際あらためて厚くお礼申し上げます。

も、県の指導により三十年十一月二十一日に第一回発起人会がもたれ、県畜産会設立の準備を進め、同月二十六日創立総会を行い、中央畜産会発足と呼応して、社団法人岡山畜産会が誕生したのであります。

三十八年頃から畜産経営診断事業について検討を要することになり、会の運営につきましても困難さを加えて参りました。そこで、農林省は、この実情に対処して、三十九年度から従来の畜産経営診断事業の手法を新たに「畜産コンサルタント事業」を実施することになりました。岡山、県、地方競馬全国協会等の強力な援助のもとに生産性の高い近代的经营を打ち立てることをめざして努力してまいりました。

本会の使命も、動物たん白質食料の増産に尽力をいたすことでありますが、特に最近の飼料事情から自給飼料の増産、なかでも粗飼料の増産、水田裏作飼料面積の増加、休耕田の活用促進、稲わらの飼料資源としての全面利用、畜産と耕種との有機的連繫等、畜産発展のために一段と努力して参りたいと思っております。

農政においても農地法(二十七年)、農産物価格安定法(二十八年)、酪農振興法(二十九年)と統いて制定されました。また畜産農家に多少の希望がもたれ始めました三十年十一月には、時の河野農林大臣によりまして「畜産指導体制の強化に関する農林事務次官通達」と「畜産指導体制の強化に関する措置要綱」が出されました。これらをうけて、本県で

畜産会発足当時の事業は、畜産農家の畜産技術の向上と経営改善の指導でありましたが、三十六年頃から指導の波及的効果を図るためグループの指導に重点を置き、経営診断事業そのものが軌道に乗って参りましたのは三十七年頃からであります。しかし乍ら当時はまだ職員数も少なく診断方法も平面的なものであったといえます。

現在畜産会が実施致しておりますコンサルタント事業の内容を申し上げますと、単なる診断事業ではなく、その地域の農家のコンサルテーションの結果から、その地域全体の対応策を受診団体に助言して全体の改善方向を明確にすることを目標にしているものであります。県下全体の実態については、県行政に反映するため取りまとめた結果を報告しますと共に対応策を県行政機関と関係団体などと検討して指導の一元化を図る為努力しているものであります。

本会事業も以上のような過程を経て今日を築いて参りましたが、しかし乍ら御承知のようにここ数年来インフレと不況の交錯する経済情勢の中で、畜産物生産価格の低迷、配合飼料の高値続き、生産諸資材の高騰、環境汚染問題、後継者と土地問題等、畜産環境は一段ときびしいものがあります。今日の畜産農家は明日の畜産を求めて模索しているといえますよう。



岡山県知事 長野 士郎

畜産会の創立二十周年を迎えて

岡山県畜産会が本県畜産界の黎明期ともいえる昭和三十年十一月に設立されて、ここに二十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。創立以来民間唯一の指導団体として畜産経営技術指導の中核となり、畜産経営の近代化に寄与されてまいりました数々のご功績に対し深甚なる感謝と敬意を表します。

県は昨年、豊かで生がいのあるくらしのできる郷土づくりを念願し、その指針として「岡山県総合福祉計画」を策定いたしました。そしてその計画におきましては、畜産の安定的発展を図る柱として、生産基盤の整備なり経営管理技術の改善を強く推進するよう計画に組み入れ鋭意その努力を重ねてまいっているのです。ところが、畜産の発展には、貴会の力が大きく期待されるのであります。

地づくりの実績を挙げられているのでありまして、改めて貴会の業績の力強さを感ぜずにはおれないのであり、どうか今後とも、私どもが平素念願しております「若者がよろこび希望を持って取り組んで行ける畜産」「生き甲斐を感じる畜産農家」の育成に格別のご協力をお願いしてやみません。

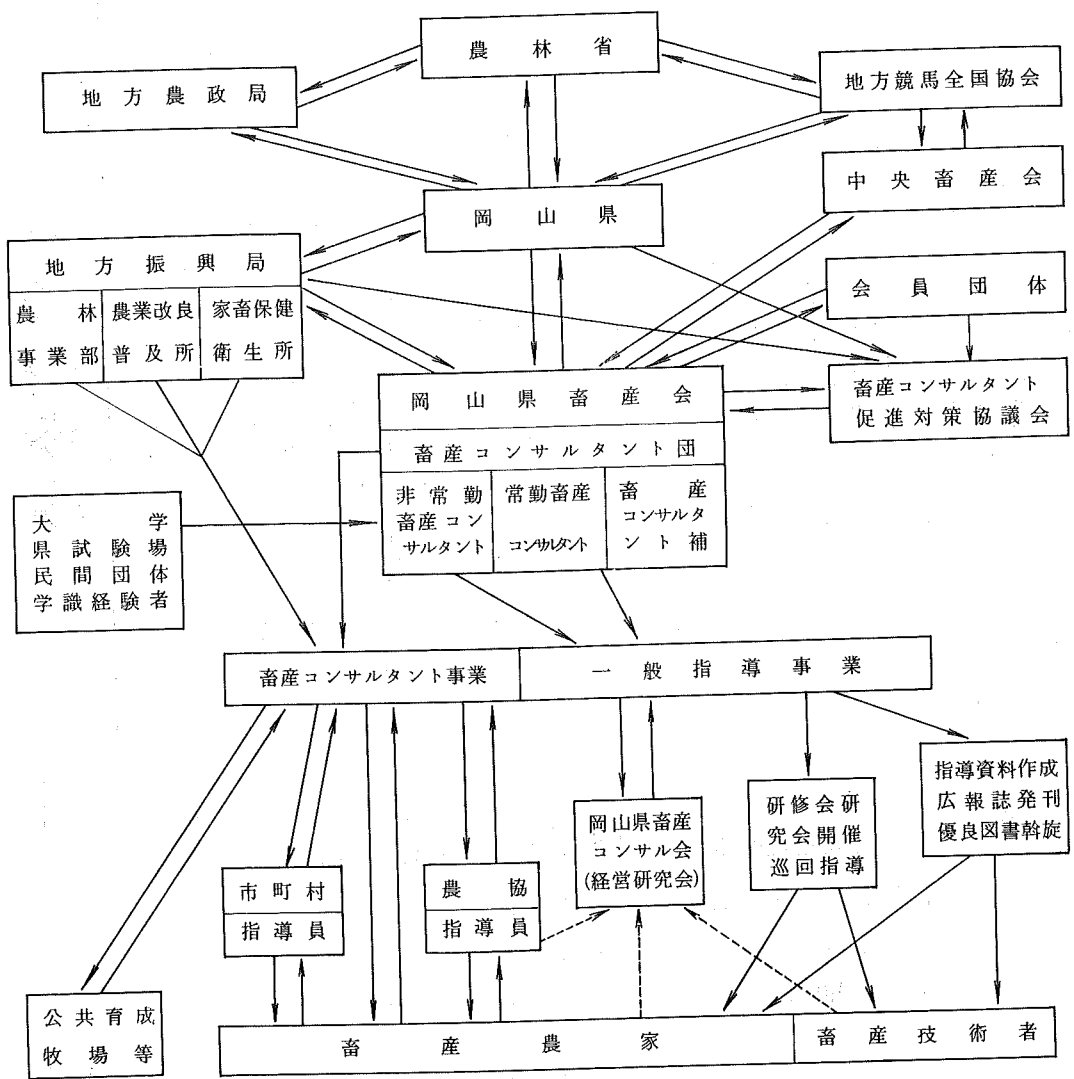
終わりに来えある創立二十周年を迎えられた記念すべきこの年を一大契機として、貴会のいっそうのご発展を期待申し上げますと同時に、あるべき畜産の姿をよく洞察され、今後ますます精進を賜り、本県の畜産の振興に寄与されることを願ひあいたします。



最近の畜産経営は、国際的食糧事情の悪化に伴う再三にわたる飼料の値上げをはじめ、石油ショック以来の諸資材の不足と高騰、さらには畜産環境に対する地域住民の要望など極めて厳しい環境に与りまかれてまいりました。そうした中で畜産に携わられる農家の方々、そしてまた、経営指導に当られる関係者皆さまがたにはご苦労の多いことと存じているのであります。

しかし食生活の多様化と高度化に伴い畜産物に対する需要はますます高く、し

岡山県畜産会機構図



(注) -----参加

会 員 名 簿

1. 現 会 員

| 会 員 名 | 加入年 | 備 考 |
|----------------|-----|-----------|
| 岡山県酪農農業協同組合連合会 | 34年 | 県酪農協会を継承 |
| 岡山県経済農業協同組合連合会 | 31 | |
| 岡山県信用農業協同組合連合会 | 31 | |
| 岡山県養鶏農業協同組合連合会 | 30 | |
| 岡山県農業共済組合連合会 | 30 | |
| 鳥城養鶏農業協同組合連合会 | 46 | |
| 岡山県養鶏加工農協連合会 | 35 | 県養鶏農協連を継承 |
| 岡山県農業信用基金協会 | 43 | |
| 岡山県畜産協会 | 43 | |
| 岡山県畜産協会 | 30 | |
| 岡山県農地開発公社 | 48 | |

2. 旧 会 員

| 会 員 名 | 加入年 | 備 考 |
|------------------|-----|-----------------|
| 岡山県酪農協会 | 30年 | 34年に解散し、県酪農連に改組 |
| 岡山県畜産農業協同組合連合会 | 30 | 36年に県総合畜産連に改組 |
| 岡山県総合畜産農業協同組合連合会 | 36 | 40年に県経済連と合併 |
| 岡山県養鶏農業協同組合連合会 | 30 | 35年に県養鶏加工連に改組 |
| 岡山県家畜商協会 | 31 | 39年に脱会 |
| 岡山県卵卵協会 | 31 | 35年に脱会 |
| 岡山県養鶏協会 | 30 | 34年に脱会 |
| 岡山県鑑別師俱樂部 | 31 | 34年に脱会 |
| 岡山県養蜂農業協同組合 | 30 | 34年に脱会 |
| 岡山県養豚農業協同組合 | 30 | 34年に脱会 |


十月号目次

| | |
|--------------------|----|
| 岡山県畜産会二十周年を迎えて | 1 |
| 畜産会の創立 | 2 |
| 岡山県畜産会機構図 | 3 |
| 岡山県畜産会の歩み | 4 |
| 診断事業の推移 | 6 |
| 畜産コンサルタント事業の概要 | 9 |
| 畜産コンサルタント事業の効果 | 10 |
| 畜産コンサルタント会の活動状況 | 12 |
| 一般指導事業 | 13 |
| 「岡山畜産便り」の発行と療史 | 14 |
| 役員名簿・職員名簿 | 16 |
| 非常勤畜産コンサルタント・指導員名簿 | 17 |
| 二十周年記念事業協賛者ご芳名 | 19 |

岡山県畜産会の歩み

| 年度 | 39 | 38 | 37 | 36 | 34 | 31 | 30 |
|----|--|---|---|----------|----|----|----------|
| 月 | 8 7 5 | 3 1 7 5 | 3 1 10 10 4 | 3 3 11 7 | 7 | 3 | 12 11 11 |
| 事項 | <p>「畜産の指導体制の強化に関する農林事務次官通達」の達示 創立総会を開催・会長大河寅蔵氏 社団法人の設立を許可(12月19日付) 畜産技術経営診断事業を開始(駄鶏陶汰の展示指導事業・酪農衛生の 現場指導事業・冬季の家畜管理の現場指導事業) 畜産改良組合育成事業を新設、経営診断事業も体制を整えた。 軽種馬調査の助成を受け始める(38年度まで継続) 第一回中国ブロック経営技術共励会を主催(以後中国五県で持回り) 第一回岡山県畜産経営共励会開催(以後毎年開催) 産乳能力検定事業に参加・輸入牧草種子の配布もこの年に行った。 診断事業はグループ(50戸単位)を対象としたものに改正されて継続 乳牛特別事故防止事業の指定を受ける(38年まで三年継続実施) 本会事務所移転(桑田町から県農業会館三階へ) 月刊誌「おかやま総合畜産」を県総合畜産と共同で創刊 畜産冬季大学を開催(36・37・38年度の三回開催) 第六回中国ブロック畜産経営技術共励会を主催</p> | <p>地方競馬全国協会発足(競馬法の一部改正)畜産振興補助を開始 専門技術職員二名、専任職員二名を設置 大河寅蔵会長死去、惣津律士氏会長に就任(11月) 本会事務所移転(農業会館三階から四階へ) 畜産経営近代化に関する調査事業で養鶏部門の指定を受ける。 佐野正氏事務局長を退任、花尾省治氏事務局長に任用。 指導員濃密研修会を実施、二泊三日の研修を行なう。 「岡山畜産便り」を県より継承、「おかやま総合畜産」を合併す。 第一回中国四国畜産技術共励会(松山市)で湯野養豚が農林大臣賞 畜産コンサルタント事業発足(畜産技術経営診断事業を廃止) 本会事務所移転(県農業会館から桑田町の現在事務所へ) 専門技術職員を畜産コンサルタント補へ、専任職員を畜産指導補佐職</p> | <p>員へ、職名が改まる。 「岡山畜産便り」創刊十五周年を記念して草地講演会を開催 畜産技術経営研修会(中畜主催)酪農部門を岡山で開催 畜産冬季大学を中止して畜産総合講習会を開催 畜産経営指導標作成事業に着手、作成委員会を開催(四畜種) 常勤畜産コンサルタント一名が設置(常勤1・補2・補佐2となる) 畜産コンサルタント事業に中核農業者群育成事業を新設 肉用牛繁殖慣行普及浸透事業を開始(地全協補助) 家畜衛生週間を実施(43年度まで三回継続) 農村青少年等畜産技術留学研修事業を開始 常勤畜産コンサルタント一名増員(常勤2・補2・補佐2となる) 蔵知教氏を事務局長に任用 乳用雄子牛増産促進事業を実施(42・43年度) 補佐職員一名を畜産コンサルタント補に昇格(常勤2・補3・補佐1) 肉豚生産調整推進事業を実施(日食協、47年まで五年継続) 畜産コンサルタント事業に臨時特別診断事業を新設 肉用牛繁殖慣行普及浸透事業に代って経営指導促進事業が新設 「岡山畜産便り」二〇〇号記念号を発行 本会事務所住所表示変更(桑田町一―二より下石井二―一六―四五となる) 岡山県畜産コンサル会を結成 中国四国ブロックコンサルタント研究会を主催(奥津・上斎原) 畜産コンサルタント事業に共同利用施設等診断事業を新設 畜産経営技術指導事業(岡山県単独補助事業)を実施 畜産コンサルタント事業の臨時特別診断事業が特別診断事業に変わる。 肉牛大規模経営現地研究会・大規模養鶏経営現地検討会を開く。 惣津律士会長死去、花尾省治氏会長に就任(6月) 上原茂喜氏を事務局長に任用 乳用雄子牛哺育技術指導事業を実施 常勤畜産コンサルタント一名増員(常勤3・補3・補佐1となる) 大規模草地改良調査事業(県委託)を実施 家畜糞尿施用展示圃設置事業・酪農飼料自家配合指導事業(酪連委託)</p> | | | | |

| 年度 | 49 | 48 | 47 | 46 | 45 | 44 | 44 | 43 | 42 | 41 | 40 | 39 |
|----|---|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|-----|---------|-----|---------|
| 月 | 7 | 4 4 | 6 4 | 4 | 11 | 3 7 5 | 4 4 | 4 4 | 4 4 | 8 8 4 4 | 4 3 | 1 11 10 |
| 事項 | <p>員へ、職名が改まる。 「岡山畜産便り」創刊十五周年を記念して草地講演会を開催 畜産技術経営研修会(中畜主催)酪農部門を岡山で開催 畜産冬季大学を中止して畜産総合講習会を開催 畜産経営指導標作成事業に着手、作成委員会を開催(四畜種) 常勤畜産コンサルタント一名が設置(常勤1・補2・補佐2となる) 畜産コンサルタント事業に中核農業者群育成事業を新設 肉用牛繁殖慣行普及浸透事業を開始(地全協補助) 家畜衛生週間を実施(43年度まで三回継続) 農村青少年等畜産技術留学研修事業を開始 常勤畜産コンサルタント一名増員(常勤2・補2・補佐2となる) 蔵知教氏を事務局長に任用 乳用雄子牛増産促進事業を実施(42・43年度) 補佐職員一名を畜産コンサルタント補に昇格(常勤2・補3・補佐1) 肉豚生産調整推進事業を実施(日食協、47年まで五年継続) 畜産コンサルタント事業に臨時特別診断事業を新設 肉用牛繁殖慣行普及浸透事業に代って経営指導促進事業が新設 「岡山畜産便り」二〇〇号記念号を発行 本会事務所住所表示変更(桑田町一―二より下石井二―一六―四五となる) 岡山県畜産コンサル会を結成 中国四国ブロックコンサルタント研究会を主催(奥津・上斎原) 畜産コンサルタント事業に共同利用施設等診断事業を新設 畜産経営技術指導事業(岡山県単独補助事業)を実施 畜産コンサルタント事業の臨時特別診断事業が特別診断事業に変わる。 肉牛大規模経営現地研究会・大規模養鶏経営現地検討会を開く。 惣津律士会長死去、花尾省治氏会長に就任(6月) 上原茂喜氏を事務局長に任用 乳用雄子牛哺育技術指導事業を実施 常勤畜産コンサルタント一名増員(常勤3・補3・補佐1となる) 大規模草地改良調査事業(県委託)を実施 家畜糞尿施用展示圃設置事業・酪農飼料自家配合指導事業(酪連委託)</p> | | | | | | | | | | | |



フ レ ー ク 飼 料

肥育牛・乳牛用に抜群
 とうもろこしを蒸煮し澱粉をアルファ化した肥育牛、乳牛の新しい飼料です。

中国物産株式会社
 笠岡市笠岡 TEL 08656 ③-1110

牛の健康、 緑の牧草は

タンカル で良い草を!

効めの早い タンカル肥料
持続性のある 土改1号, 2号

足立石灰工業株式会社
岡山県新見市足立 TEL (086788)代表1番

牛乳の20%増産の秘訣は

蚊・蠅のいない好環境から

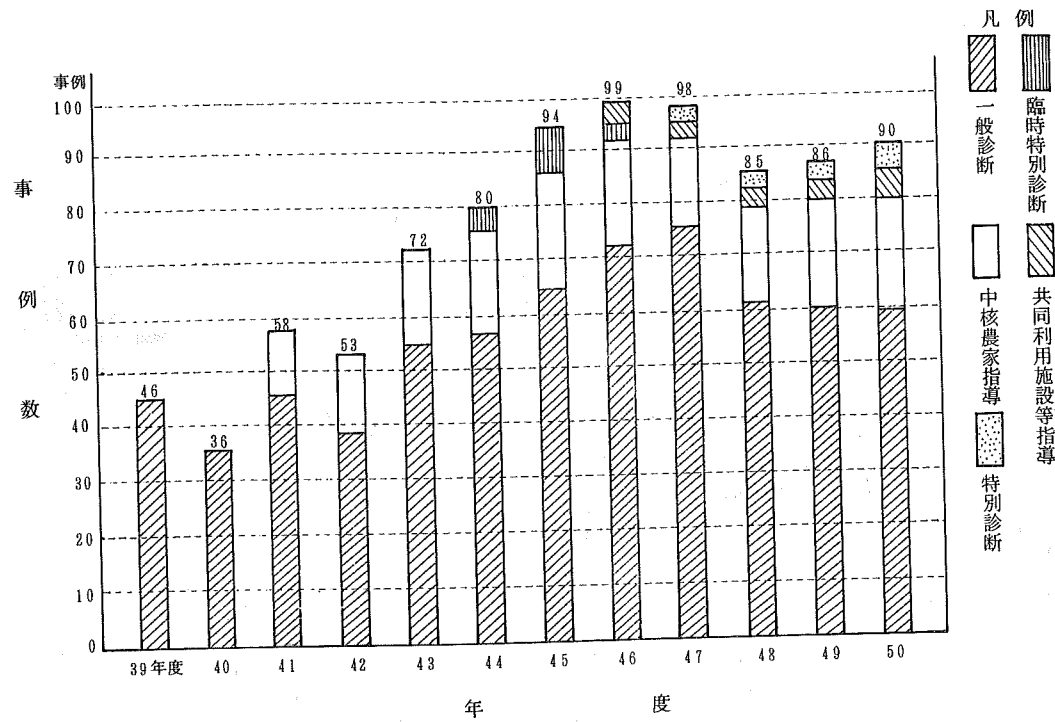


■本品はピレトリンだけを含有、問題になったDDT, BHC, ドリン等の塩素系薬剤は一切含んでおりません。従って牛の健康をそこなわずしかも牛乳中にも毒性が検出されません。

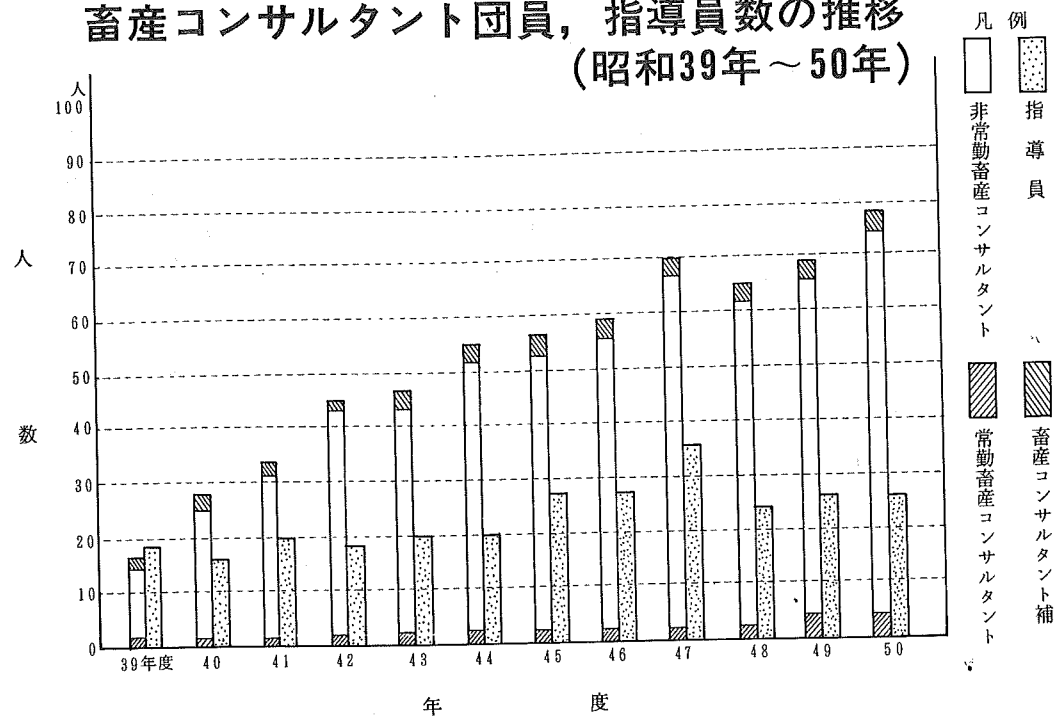
お求めは所属の組合へ

豊年薬品商会
 大阪市住吉区東加賀屋町3-5-2
 電話 大阪 06 (671) 5662 (代表)
 郵便番号 558

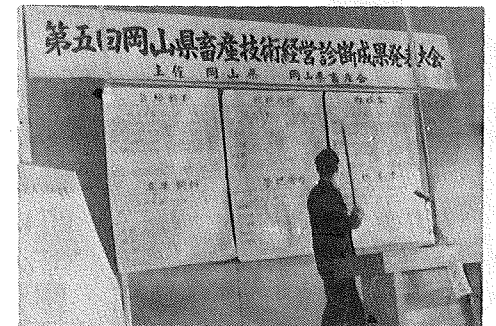
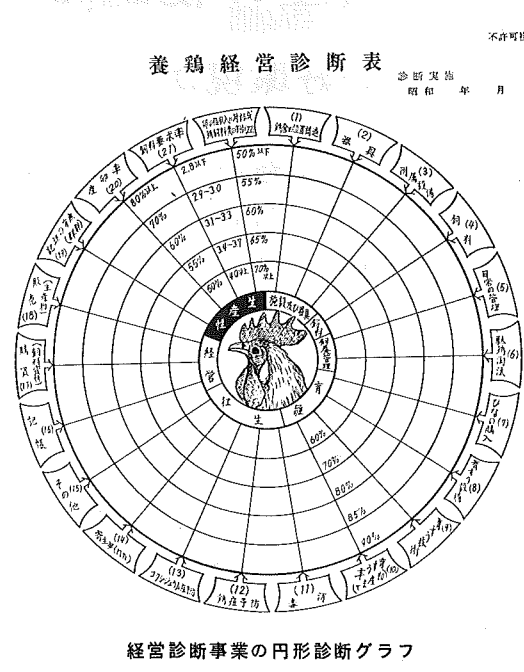
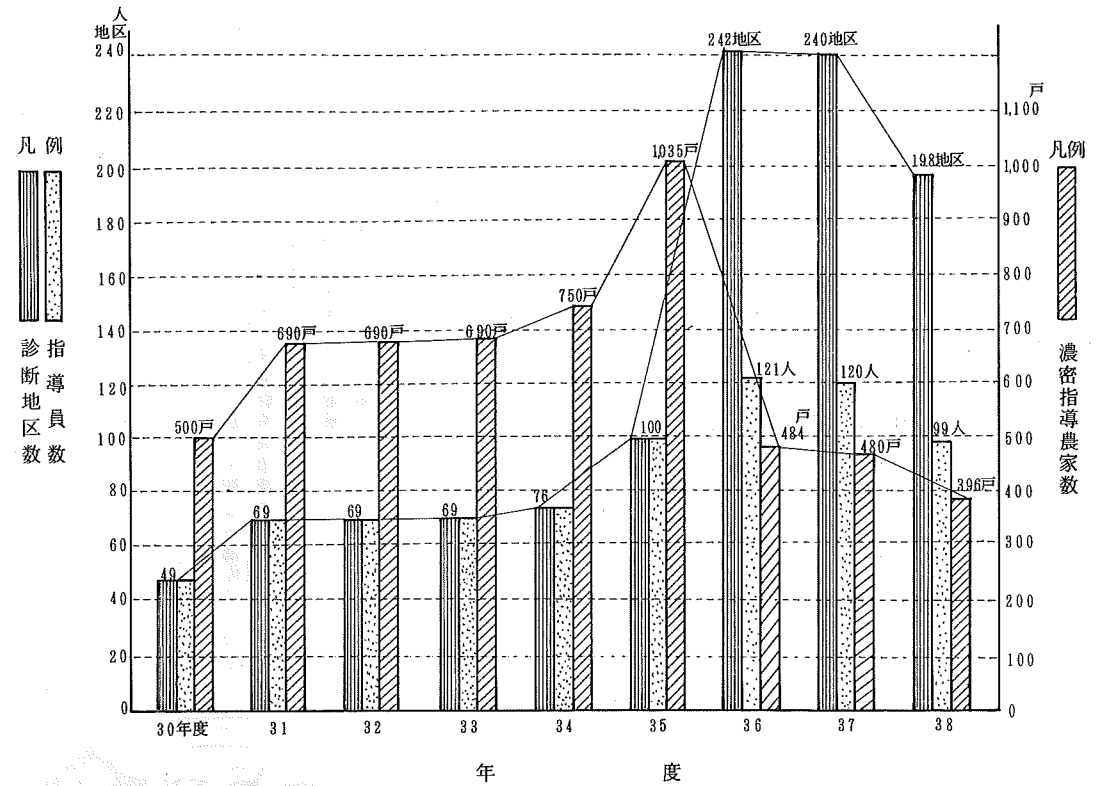
畜産コンサルタント事業診断事例数の推移 (昭和39年～50年)



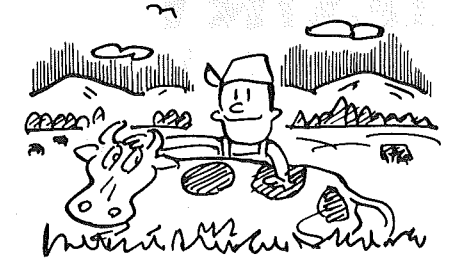
畜産コンサルタント団員、指導員数の推移 (昭和39年～50年)



畜産技術経営診断事業の推移 (昭和30年～38年)



第5回岡山県畜産技術経営診断成果発表大会 (S. 38)



畜産コンサルタント事業実施地区分布状況 (一般診断のみ)



畜産コンサルタント事業の概要

a 一般診断指導

畜産農家を対象として、コンサルタント団員が現地診断指導を行ない、経営改善をはかっているが、現在迄の診断事例は酪農四三八戸、肉用牛八二戸、養鶏一三戸、養豚三五戸、計六六七戸となる。

b 中核農業者濃密指導

昭和四一年度以降、中核農家に延一九六名指定し、これを中心としたグループ員延約五、八〇〇名を対象に指導を行ない、全体のレベルアップをはかっている。なお中核農家の優良技術発表会を開催し、優良畜産技術の交流をはかっている。

c 共同利用施設等 診断指導

育成牧場、施設機械等の共同利用している事例を対象に診断指導している。

d 特別診断指導

大型の制度資金を借入れて、規模拡大、経営改善をはかろうとする者を対象に診断指導をしている。制度資金を借入れる場合、一般診断、又は特別診断を受けると借入れが容易になる。

e 臨時特別診断指導

昭和四四年から四六年迄の間行なったが、公共育成牧場、肉用牛繁殖育成センター等を対象とした。その中には岡山県畜産公社の繁殖育成センターも含まれ、当時全国的に同種センターが作られ、何れも経営不振に陥り入っていたこともあり、中四国ブロック畜産コンサルタント研究会の当番県であった昭和四五年度にこの事例を研究対象として取上げた。



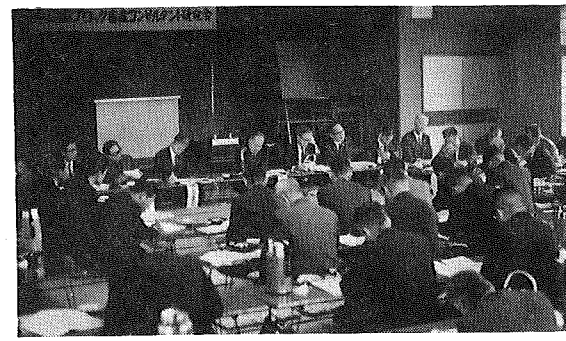
診断風景 昭和43年
於 作東町 酪農家



中核農家の優良畜産技術発表会
(S. 48年度、長船町 K氏)



特別診断指導を受けて建てた牛舎内部
(岡山市東山内 K牧場)



中四国ブロック畜産コンサルタント研究会
(於 上斎原村 白雲閣 昭和45年11月)

畜産コンサルタント事業の効果

昭和三十九年度より五〇年度迄、この事業で診断指導し、又現在診断指導中の事例数は延八九七事例になる。

診断指導後その経営が如何に変わっているか、診断は原則として二年継続が限度で、その後の経営内容を再び詳しく調査診断することはないが、一般診断受診農家延六七戸、実四〇〇戸程度の内二〇〇戸位が畜産コンサル会を結成して、年間数回、県内各地で研究会活動を畜産会を中心として活発に行なっている。

また昭和四八年に実施した診断農家のアンケート調査の結果を示すと次のとおりとなっている。

これは直接受診農家にアンケートをせず、受診当時協力願った、町村、農協、当時の指導員等に依頼して、第三者の立場から診断以前と以後を比較してもらったもので、またその後畜産経営を脱落した戸数も調べ、一般の戸数減少率との比較を行なった。

畜産コンサルタント受診農家追跡調査結果（昭和48年4月実施）

| 酪農 | 初診年度 | 診断戸数 | 48/4月迄の脱落戸数 | 残戸数 | 減少率 | 県下平均の減少率 | 残事例中経営改善戸数 | 経営改善の率 |
|----|------|------|-------------|-----|------|----------|------------|--------|
| | 40 | 8 | 2 | 6 | 25% | 44.3% | 6 | 100% |
| | 41 | 19 | 3 | 16 | 15.8 | 42.6 | 14 | 87 |
| | 42 | 13 | 3 | 10 | 23 | 36.7 | 9 | 90 |
| | 43 | 17 | 0 | 17 | 0 | 34.0 | 17 | 100 |
| | 44 | 14 | 1 | 13 | 7.1 | 34.1 | 11 | 84 |
| | 45 | 25 | 0 | 25 | 0 | 25.9 | 19 | 76 |
| | 46 | 21 | 0 | 21 | 0 | 10.0 | 18 | 85 |
| 計 | | 117 | 9 | 108 | | | 94 | 87 |

| 肉用牛 | 初診年度 | 診断戸数 | 48/4月迄の脱落戸数 | 残戸数 | 減少率 | 県下平均の減少率 | 残事例中経営改善戸数 | 経営改善の率 |
|-----|------|------|-------------|-----|-----|----------|------------|--------|
| | 40 | 4 | 0 | 4 | 0% | 61% | 3 | 75% |
| | 41 | 5 | 2 | 3 | 40 | 58 | 3 | 100 |
| | 42 | 6 | 0 | 6 | 0 | 53 | 4 | 66 |
| | 43 | 9 | 4 | 5 | 44 | 51 | 5 | 100 |
| | 44 | 5 | 0 | 5 | 0 | 49 | 4 | 80 |
| | 45 | 4 | 0 | 4 | 0 | 43 | 4 | 100 |
| | 46 | 5 | 0 | 5 | 0 | 28 | 3 | 60 |
| 計 | | 38 | 6 | 32 | | | 26 | 81 |

| 採卵養鶏 | 初診年度 | 診断戸数 | 48/4月迄の脱落戸数 | 残戸数 | 減少率 | 県下平均の減少率 | 残事例中経営改善戸数 | 経営改善の率 |
|------|------|------|-------------|-----|-----|----------|------------|--------|
| | 39 | 7 | 0 | 7 | 0% | 79% | 7 | 100% |
| | 40 | 3 | 0 | 3 | 0 | 78 | 3 | 100 |
| | 41 | 3 | 0 | 3 | 0 | 75 | 3 | 100 |
| | 43 | 6 | 0 | 6 | 0 | 70 | 6 | 100 |
| | 44 | 1 | 0 | 1 | 0 | 59 | 1 | 100 |
| | 45 | 3 | 0 | 3 | 0 | 52 | 3 | 100 |
| | 46 | 1 | 0 | 1 | 0 | 37 | 1 | 100 |
| 計 | | 24 | 0 | 24 | | | 24 | 100 |

診断を受けた農家の声と現況

邑久郡長船町 牧野 勉

輝かしき業績と成果をあげられつつ、ここに創立二十周年を迎えられました岡山県畜産会は、常に吾々畜産農家のシンボルであります。人生に例えますれば「成人の式」に達し、年と共にその陣容も強化され、今將に岡山県畜産会こそ全国組織の中でも最も充実した内容を持たれていることは慶びにたえません。とくに中核農業者群育成事業の推進により、経営診断農家は年々増加し、しかも各々の地域畜産農家のリーダーとしての役割を果しつつありますことは、これ一重に畜産会ご指導の賜であり、受診農家一同になり代り心より厚くお礼を申し上げます。



牧野 勉 氏

診断農家群の養成にも力をそそいで頂いております。現在会員数は二百余名の多きに達し、互に励ましあいながら、研究討議を重ねつつ進む組織もまた他県にもその例をみないものであります。こうして一連の指導組織のもとに伸びる本県畜産農家は誠に幸福であると私は信じております。ここに十年一日の如くたえまざるご努力を賜わりながら変わらざる愛情によりはぐくまれてきた吾々のこの親しめる会としての性格は、將に官民一体と成った組織のおかげであり、またただ形式に執われず真に時代に即応した会の運営にもとづくご指導こそ、コンサル会の今日をあらためて頂いた大きな根拠であると信ずるものであります。乞い願わくば目下財政難のおりとは存じますが、この吾々の希望を裏切ることなく、変らざるご指導をお願いするとともに、吾々畜産農家もまたご期待にそうために、益々相互の信頼と団結を強め、「人と人の和」を第一としたコンサル会への信頼をもとにして、畜産会を中心にさらに躍進を重ねたいと存じます。

今後の岡山県畜産会のご発展こそ、吾々県下畜産農家の幸福と畜産振興につながる

がる事であり限りなき前進と、一層のご指導を乞い願いつつ、榮えある創立二十周年のお祝いの言葉と致します。

（牧野氏は昭和四一年度から中核農家に指定され、その年経営診断を受けられ、全国優良畜産技術発表会でも発表された。岡山県畜産コンサル会創立以来会長を勤められ、昭和四九年度に第一回の岡山県農業士に選ばれております。）



牧野氏の牛舎全景

英田郡美作町 栗井 守



栗井 守 氏

私と畜産会との縁は昭和四二年に始まりました。当時私の経営規模は、水稲九〇アール、抑制きゅうり一〇アール、産卵鶏一、四〇〇羽でした。マレック病の発生で収入の伸び悩みに加え、長男の大学進学等の出費がかさんでいた時でした。

ので、仲立ちをした美作農協の和田組合長に、生産者が止めるという限り続けるという条件とし、町内の同志四人と受診をしたのでした。

四六年二〇〇羽、四九年四〇〇羽と増羽し、現在水稲六〇アールと成鶏四二〇〇羽の経営で、規模は大きくありませんが、マレック病が蔓延した時にも収入面で大きく経営をくづすことなく経過したことは、畜産会の経営診断と養鶏試験場外、各指導機関の提携による技術指導の賜で、その中に現在の私があるのであって、感謝いたしております。

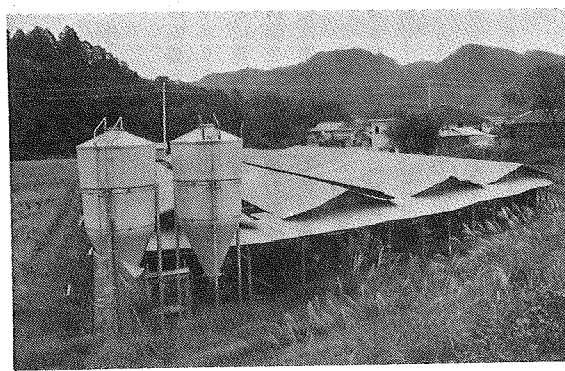
思い出すのは、たまたま選ばれて我々のグループ員である金藤仁美さんが岡山県代表となり、四六年五月に開かれた中央畜産会主催の全国優良畜産技術発表会に参加したことでした。私も介添役として上京しましたが、こうした場で良い経営内容に接することができ、我々も努力すればこの位のは出来るだろうという自信を持つことが出来ました。目先きの経営に追われ勝ちになる我々に、目を拡げる機会が与えられ、多くのよき友、よき指導者を得ることが出来るのも、受診の恩典でありましょう。

金藤仁美さんは四二年にニューカッスル禍で経営は全滅し、その後みごと再建されましたが、彼が述懐して言われたことは「あの苦境にあつて、これを本場に再建に結びつけてくれたのは、目先きの収支よりも、経営の安定性が如何に充実しているかを経営指数による数字によって確実に把握し、はげましてくれたおかげだ」と言っていることです。我々はややもすると、飼養技術と損益収支の面からの成果で判断する嫌いがありますが他の一面である経営指数を把握することは忘れてはならないことです。金藤さんの述懐は私の心に一番刻みこまれた言葉でしたが、これはそのまま畜産会の真諦であろうと私は思います。

私も未だに復式簿記は苦手で口はばつたいことは言えないのですが、コンサルタント事業の予備調査表にはすぐ転記が

出来るだけの記録はやっています。年末には家族が紅白歌合戦をみている間に一年のしめくくりをしまします。経営指数の分析は把握が困難で時間がかかりますが、翌年の経営に役立つように診断を早くして下さるよう畜産会に望みたいと思います。

今後農家養鶏は大変むずかしくなりませんが、コンサルタント事業を通じて養鶏農家が、月給鳥にならなくてよかつたと思ふ畜産農家の育成に一層のご精進をします。戴きますよう心からお願いたします。



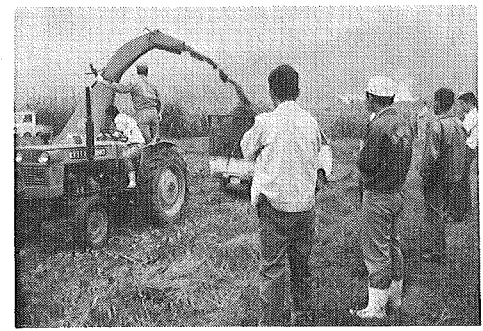
栗井氏の鶏舎

岡山県畜産 コンサル会の 活動状況

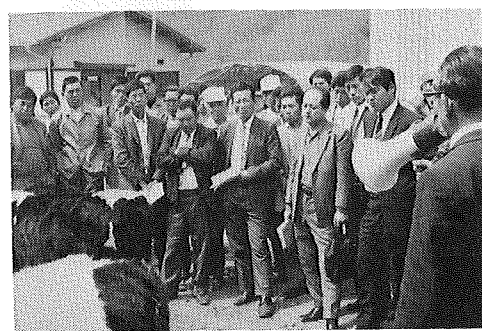
コンサル会は、昭和四五年一月、畜産コンサルテーション受診農家、中核農家の結束、意見交流、技術向上等を目標として、発起人会を開き、三月に設立総会を開催し、正式にスタートした。設立当時の会員数は八〇名前後であったが、その後漸次会員数もふえ、現在は二百名を上まわり、毎年五、六回程度の研修会を開いている。



酪農研修会、落合町(45.12)



自給飼料研修会、北房町(50.10)



育成技術研修会、旭東畜産公社(48.4)

畜産講演会等の開催

(一)、畜産冬季大学の開催

昭和三六年度から三八年度の間、毎年冬季農閑期に四日間連続で、各界権威者を招へいして畜産講演会を開催し、毎年延一、五〇〇人以上の出席者を集め盛会であった。

(二)、畜産技術 研修会等の開催

昭和三九年以降は、畜産技術研修会が主となり、毎年四部門程度開催し、最新の畜産技術の普及伝播に努めている。

昭和三九年から四九年迄の一年間に開催した研修会等の状況は次の通りであった。

| | | |
|---------|------|--------|
| 酪農関係 | 一〇回 | 延一、三五名 |
| 肉用牛 | 一〇回 | 一、三六〇名 |
| 乳用去勢牛 | 七回 | 九二〇名 |
| 養鶏 | 七回 | 八〇五名 |
| 養豚 | 三回 | 三〇五名 |
| 経営流通 | 二回 | 二八〇名 |
| 自給飼料 | 三回 | 三二〇名 |
| 環境保全、衛生 | 四回 | 六〇〇名 |
| 計 | 計四七回 | 五七二五名 |



肉用牛研修会



冬季大学

指導資料の作成

(一)、畜産経営指導指標

昭和三九年度から四〇年度にかけて、畜産コンサルタント事業実施上必要な経営指導指標を、酪農、肉用牛、養鶏、養豚の四部門について、県内各部門の権威者の頭脳を結集して作成した。

(二)、指導用テキスト

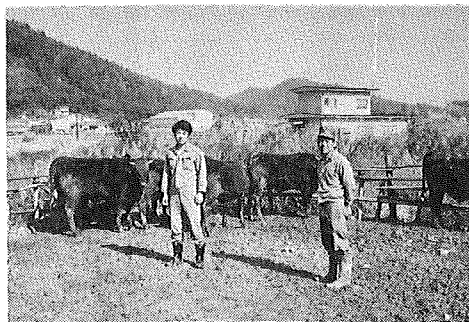
| | | |
|-------------------|---------|--|
| a 酪農部門 | | |
| 乳牛の見方 | 四三年 二月 | |
| 乳牛の飼料給与基準 | 四三年 一月 | |
| 乳牛の飼養管理と疾病予防 | 四四年 三月 | |
| 乳牛の改良 | 四五年 二月 | |
| ホルスタイン種雄牛系統図 | 四六年 一〇月 | |
| ビール粕の利用 | 四七年 七月 | |
| b 肉用牛部門 | | |
| 乳用雄子牛の肉利用 | 四二年 三月 | |
| 肉用牛飼養の基礎知識 | 四二年 一〇月 | |
| 肉用牛生産経営の手引 | 四三年 二月 | |
| 乳用雄子牛の肥育 | 四六年 一月 | |
| 乳用雄子牛の哺育技術 | 四九年 一月 | |
| c 自給飼料部門 | | |
| 飼料作物耕種基準とサイレージ貯蔵法 | 四五年 三月 | |
| 水田に草を作ろう | 四七年 三月 | |
| 自給飼料のすべて | 四九年 六月 | |

農村青少年等畜産 技術留学研修事業

農業後継者の育成と畜産技術の普及浸透を図ることを目的として、農村青少年を先進地農家へ留学研修させる事業である。

昭和四一年以降、研修生は毎年県内から県外へ、または県外から県内へと、畜産会が選定した受入農家へ入り、優れた畜産経営技術を体得して帰っている。

昭和四一年度から五〇年度迄の九年間に、県内からの研修生は二九名、また県外からの研修生は二四名となっている。



留学研修事業の受入農家と研修生
(岡山市吉備津S氏方)

「岡山畜産便り」の歴史

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------|------|---------|------|----------|-------|------|------|------|------|------------|------|----------|-------|
| 通刊番号 | 創刊号 | 7号 | 9 | 13 | 25 | 68 | 69 | 75 | 82 | 108 | 109 | 120 | 126 | 142 |
| 発行年月 | 24.11 | 25.6 | 25.8 | 26.1 | 27.1 | 30.11 | 31.1 | 31.7 | 32.4 | 35.5 | 35.6 | 36.6 | 37.3 | 38.12 |
| 発行所 | 岡山県畜産課 岡山県畜産研究会 (岡山県畜産課内) | | | | | | | | | | | | | |
| 発行人 | 押野芳夫 | | 惣津律士 | | | | 蔵知毅 | | | | 出口孝吉 | | | |
| 編集人 | 加本一久 | | 加本一久 | | 蔵知毅 | | 花尾省治 | | 宇野仁 | | 花尾省治、今本香豆彦 | | | |
| | | | | | 多田昌男 | | 多田昌男 | | 佐藤謙 | | 長江勘次郎 | | 片山秋平 塩田年 | |
| 年間誌代 | 0円 | | 200 | | | | 300 | | | | 400 | | | |
| 印刷所 | 岡山県印刷所 | | 山陽新聞印刷所 | | 山陽印刷株式会社 | | | | 西尾活 | | | | | |

36.11 創刊

おかやま総合畜産



「岡山畜産便り」の発行とその歴史

| | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|------------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
| 143 | 149 | 166 | 179 | 200 | 222 | 245 | 246 | 249 | 266 | 271 |
| 39.1 | 39.8 | 41.5 | 42.6 | 44.5 | 46.3 | 48.4 | 48.5 | 48.8 | 50.4 | 50.10 |
| 岡山県畜産会 | | | | | | | | | | |
| 惣津律士 | | | | | | 三宅忠雄 | | 花尾省治 | | |
| 千原英之 | | 花尾省治 | | 蔵知毅 | | 上原茂喜 | | | | |
| 千原英之 | | 孝忠 稔 右 | | | | 藤笠敬二 | | | | |
| 600 | | | | 1,000 | | | 1,300 | | | |
| 版所 | 岡山県印刷所 | 西尾印刷 | ふじや高速印刷 KK | | | | | | | |

統合

畜産会創立
20周年記念号



昭和二十四年一月より岡山県畜産課が発行していた「岡山畜産便り」と、昭和三十九年一月より「岡山畜産便り」として引続き発行している。を教え、全国でも珍しい、畜産専門の雑誌となつた。 今後この「岡山畜産便り」を、内容を一層充実したものにし、畜産関係者に広く愛される雑誌としていきたい。

| 退職時の職名 | 氏名 | 在任期間 | 本籍地又は現住所 | 摘要 |
|-----------|--------|----------------------|--------------------|----------------|
| 雇 | 中山 亘 | 35. 1. 20~35. 3. 31 | 上房郡北房町下中津井 1177 | |
| 畜産指導補佐職員 | 木村 敏彦 | 35. 4. 5~40. 3. 31 | 香川県香川郡香川町大野 1284-2 | 香川県経済農業協同組合連合会 |
| 指導課長 | 安東 秀郎 | 36. 7. 1~37. 12. 28 | 岡山市津島東 2丁目 9-17-3 | 岡山県経済農業協同組合連合会 |
| 雇 | 安東 まつみ | 36. 12. 1~37. 1. 31 | | |
| 畜産指導補佐職員 | 小椋 まゆみ | 37. 4. 1~50. 3. 31 | 岡山市当新田市宮住宅 34-7 | 岡山県肉用牛基金協会 |
| 畜産コンサルタント | 遠藤 純三 | 37. 12. 31~40. 3. 31 | 和気郡和気町衣笠 1031-1 | 死去 |
| 補指導課長 | 井谷 一二 | 37. 12. 31~38. 3. 31 | 都窪郡早島町金田 | |
| 嘱託書記 | 近藤 八重子 | 38. 4. 1~40. 4. 30 | 岡山市田益 1613 | 岡山県経済農業協同組合連合会 |
| コンサルタント補 | 孝忠 稔右 | 38. 5. 1~50. 1. 31 | 岡山市曾根 190 | 岡山県酪農農業協同組合連合会 |
| 常勤コンサルタント | 花尾 省治 | 38. 5. 13~42. 5. 1 | 岡山市下阿知 1325 | 会長 |
| 常勤コンサルタント | 内山 茂 | 40. 5. 1~41. 4. 30 | 岡山市加茂 1115-3 | 岡山日大高等学校 |
| 畜産指導補佐職員 | 蔵知 毅 | 42. 5. 1~48. 3. 31 | 岡山市藤原光町 3-1-4 | 中央畜産会参与 |

2 現職員

| 職名 | 氏名 | 任用年月日 | 本籍地又は現住所 | 摘要 |
|-----------|--------|-----------|-----------------|----|
| 事務局次長 | 上原 茂喜 | 42. 5. 1 | 岡山市妹尾 1895-22 | |
| 常勤コンサルタント | 石井 敏雄 | 48. 4. 2 | 岡山市西畦 176 | |
| 常勤コンサルタント | 栗山 光春 | 49. 4. 2 | 岡山市藤原光町 3-10-5 | |
| 技術主任 | 植田 拓士 | 40. 7. 1 | 岡山市加茂 260-14 | |
| 常勤コンサルタント | 千原 英之 | 36. 5. 31 | 岡山市西古松 123 | |
| 管理課長 | 藤笠 敬二 | 50. 2. 1 | 岡山市伊島町 3丁目 7-22 | |
| 常勤コンサルタント | 藤原 志解子 | 49. 11. 1 | 岡山県和気郡和気町衣笠 886 | |

非常勤畜産コンサルタント団員名簿 (昭和50年度現在)

| 氏名 | 専門分野 | 所 属 | 職名 | 氏名 | 専門分野 | 所 属 | 職名 |
|--------|------|---------------|-------|--------|------|-----------|-------|
| 中江利孝 | 酪農 | 岡山大学 | 教授 | 林正夫 | 肉用牛 | 学識経験者 | |
| 竹原 宏 | " | 岡山県酪農試験場 | 場長 | 木本 肇 | 養豚 | 岡山県酪農試験場 | 養豚部長 |
| 松尾卓彦 | " | " | 特別研究員 | 矢部寛明 | " | " | 研究員 |
| 三宅律太 | " | " | 酪農部長 | 神原 啓 | " | " | " |
| 守屋典彦 | " | " | 専門研究員 | 大塚 久二夫 | " | 岡山県経済連 | 種豚場長 |
| 藤田 斉 | " | 岡山県普及振興課 | 専技主幹 | 末沢 靖史 | " | " | 養豚主幹 |
| 多田 確 | " | 岡山県家畜産物衛生指導協会 | 常務理事 | 横江 博通 | " | 三興株式会社 | 場長 |
| 渡辺一正 | " | ホクタク農協 | 指導部長 | 須藤 浩 | 自給飼料 | 作陽学園短大 | 教授 |
| 和田 宏 | 肉用牛 | 岡山大学 | 教授 | 小林 忠男 | " | 岡山県普及振興課 | 専技主幹 |
| 阿部 富士郎 | " | 岡山県和牛試験場 | 場長 | 西田 正義 | " | 岡山県立農業試験場 | 専門研究員 |
| 嘉寿頼栄 | " | " | 業務部長 | 森 大二 | " | 岡山県酪農試験場 | 研究員 |
| 豊田繁正 | " | " | 専門研究員 | 岸川 良吉 | " | " | " |
| 黒田昭昌 | " | " | " | 白石 太郎 | " | " | " |
| 梶並嘉芳 | " | " | " | 辻 誠之 | " | " | " |
| 片山政男 | " | " | 研究員 | 吉田 幸正 | " | 岡山県和牛試験場 | " |
| 溝口 豊 | " | " | " | 石橋 恭一郎 | " | 学識経験者 | |
| 山本賢次 | " | 岡山県経済連 | 畜産部長 | 牧野 勉 | " | 自営、県農業士 | |
| 横田民雄 | " | " | 肉牛主幹 | 川崎 晃 | 養鶏 | 岡山県養鶏試験場 | 場長 |

役員名簿

1. 旧役員

| 役名 | 氏名 | 在任期間 | 本籍地又は現住所 | 摘要 |
|--------|--------|-----------------------|-----------------|----|
| 副会長 | 奥山 吉備男 | 30. 11. 26~32. 6. 29 | 岡山市沼 657 | |
| 理事 | 森谷 宜寿 | 30. 11. 26~32. 6. 29 | 岡山市奥田 110 | |
| 理事 | 高田 馬治 | 30. 11. 26~32. 6. 29 | 岡山市駅元町 18-10 | 死去 |
| 理事 | 小川 敬次郎 | 30. 11. 26~33. 5. 8 | 総社市総社 829 | |
| 監事 | 人見 力 | 30. 11. 26~33. 5. 8 | 岡山市島田本町 31 | |
| 監事 | 入江 唯夫 | 30. 11. 26~35. 7. 1 | 岡山市平井 515 | |
| 理事・監事 | 野島 瑛 | 30. 11. 26~36. 11. 27 | 高梁市新町 87 | |
| 会長 | 大河 寅藏 | 30. 11. 26~37. 10. 24 | 高梁市南町 73 | 死去 |
| 専務理事 | 佐々木 寿 | 31. 6. 1~32. 5. 12 | 苫田郡小田村小座 1330 | 死去 |
| 理事 | 徳長 久間太 | 31. 4. 30~33. 9. 9 | 和気郡和気町藤野 763 | 死去 |
| 監事 | 大森 猛次 | 31. 4. 30~36. 11. 27 | 岡山市粕谷 124 | |
| 副会長 | 今井 剛 | 32. 6. 29~34. 7. 1 | 岡山市門田文化町 911 | |
| 理事 | 山田 保 | 32. 6. 29~46. 4. 27 | 真庭郡久世町草加部 779 | |
| 理事 | 岡崎 鷹次 | 34. 7. 1~35. 7. 27 | 岡山市西大寺岡東 1-13-7 | 死去 |
| 副会長・理事 | 流郷 章雄 | 34. 7. 1~47. 6. 5 | 勝田郡勝北町上村 129 | |
| 理事 | 長瀬 謙治 | 35. 7. 27~40. 7. 1 | 岡山市福田北長瀬 | 死去 |
| 監事 | 岸 正一 | 36. 11. 27~40. 7. 1 | 岡山市松尾 96 | 死去 |
| 監事 | 山本 徹雄 | 36. 11. 27~41. 7. 11 | 御津郡加茂川町門城 620 | 死去 |
| 会長 | 惣津 律士 | 37. 11. 30~48. 4. 9 | 岡山市藤原光町 3-11-3 | 死去 |
| 理事 | 難波 徹 | 40. 7. 1~41. 7. 11 | 岡山市平井 1531 | |
| 理事・監事 | 菅野 幸嘉 | 40. 7. 1~49. 6. 14 | 上房郡賀陽町上竹 4075 | |
| 理事 | 平松 幹章 | 41. 7. 11~46. 4. 27 | 川上郡成羽町下原 1009-1 | |
| 専務理事 | 花尾 省治 | 41. 7. 7~42. 5. 26 | 岡山市下阿知 1325 | |
| 理事 | 谷口 謙三郎 | 46. 4. 27~50. 6. 23 | 真庭郡勝山町月田 4693 | |
| 理事 | 堀 裕 | 46. 4. 27~50. 6. 23 | 真庭郡勝山町月田 1428 | |

2 現役員

| 役名 | 氏名 | 在任期間 | 本籍地又は現住所 | 摘要 |
|-----|--------|-------------|----------------|------------------|
| 会長 | 花尾 省治 | 48. 6. 19~ | 岡山市下阿知 1325 | 岡山県酪農農業協同組合連合会長 |
| 副会長 | 三宅 忠雄 | 36. 11. 27~ | 川上郡川上町下大竹 45 | 中央会理、学識経験者 |
| " | 池田 隆政 | 41. 7. 11~ | 岡山市上伊福 1817 | 鳥城養鶏協同組合組合長 |
| 理事 | 今宮 光慶 | 37. 6. 5~ | 倉敷市生坂 2172 | 岡山県経済農業協同組合連合会長 |
| " | 富山 田鶴雄 | 49. 6. 14~ | 岡山市津高 943 | 岡山県信用農業協同組合連合会長 |
| " | 山上 茂吉 | 30. 11. 26~ | 岡山市福富 308 | 岡山県養鶏農業協同組合長 |
| " | 生末 敏夫 | 50. 6. 23~ | 津山市椿高下 116 | 岡山県農業共済組合連合会長 |
| " | 茂成 章 | 43. 4. 25~ | 赤磐郡瀬戸町下 545 | 岡山県農業信用基金協会会長 |
| " | 松尾 昌泰 | 49. 6. 14~ | 阿哲郡哲多町宮河内 1030 | 岡山県獣医師会長 |
| 監事 | 平本 武夫 | 32. 6. 29~ | 笠岡市山口 2638 | 岡山県酪農農業協同組合連合会理事 |
| " | 小野 登志男 | 41. 7. 11~ | 岡山市福富 369 | 岡山県養鶏農業協同組合参事 |

職員名簿

1. 旧職員

| 退職時の職名 | 氏名 | 勤務期間 | 本籍地又は現住所 | 摘要 |
|--------|-------|----------------------|----------------|----------------|
| 事務局次長 | 佐野 正民 | 31. 3. 1~38. 4. 1 | 総社市井尻野 1180 | くみあい飼料、岡山工場 |
| 主事 | 前田 武郎 | 32. 7. 10~37. 12. 28 | 岡山市橋津 483-1 | 岡山県経済農業協同組合連合会 |
| 技師 | 天野 省吾 | 34. 6. 30~37. 4. 30 | 津山市小田中西松原 2204 | 勝英地方振興局 |

社団法人 岡山県畜産会

創立20周年記念事業協賛者ご芳名

(順序不同)

| | |
|----------------------|-----------------|
| 岡山県酪農農業協同組合連合会 | 林薬品株式会社 |
| 岡山県経済農業協同組合連合会 | 三洋商事株式会社 |
| 岡山県信用農業協同組合連合会 | 株式会社 小 六 |
| 岡山県農業共済組合連合会 | 中国化工株式会社 |
| 岡山県養鶏加工農業協同組合連合会 | 岡山くみあい飼料株式会社 |
| 岡山県農業信用基金協会 | 雪印種苗株式会社 |
| 岡山県養鶏農業協同組合 | 株式会社日本チャンキー原種鶏場 |
| 岡山県獣医師会 | 中国物産株式会社 |
| 鳥城養鶏農業協同組合 | シオノギ製薬株式会社 |
| 岡山県製酪協会 | 良互薬品株式会社 |
| 岡山県家畜畜産物衛生指導協会 | ふじや高速印刷株式会社 |
| 全国酪農協同組合連合会 | 成親建設株式会社 |
| 社団法人家畜改良事業団岡山種雄牛センター | 藤原興産株式会社 |
| ホクラク農業協同組合 | 加藤製油株式会社 |
| 岡山ゼンヤク株式会社 | ミツシマ産業株式会社 |

| 氏 名 | 専門分野 | 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 専門分野 | 所 属 | 職 名 |
|--------|------|-----------|---------------|--------|------|-------------|------|
| 村田 武久 | 養 鶏 | 岡山県養鶏試験場 | 特別研究員 業務所長 | 沼本 尚 | 経 営 | 岡山県普及振興課 | 専 技 |
| 多田 昌男 | " | " | 特別研究員 | 藏知 毅 | " | 中央畜産会 | 参 与 |
| 諏訪 一男 | " | " | 専門研究員 | 木村 信弥知 | 流 通 | 岡山県酪連 | 参 事 |
| 岩本 敏雄 | " | " | " | 信藤 良之 | " | 旭東酪農 | 事業部長 |
| 高橋 彰 | " | " | " | 柏原 要 | " | 岡山県経済連 | 畜産部長 |
| 上野 満弘 | " | " | 研究員 | 安東 秀郎 | " | " | 主 幹 |
| 古市 比天司 | " | " | " | 鐵正 巧 | " | " | 養鶏課長 |
| 上林 峯治 | " | " | " | 文谷 蓮一郎 | " | " 高粱主管支所 | 次 長 |
| 高見 忠敬 | " | 岡山県経済連 | 養鶏主幹 | 向原 英夫 | " | " 倉敷 " | " |
| 橋長 誠 | " | 日本チャンキー | 場 長 | 金谷 英一 | " | " 岡山 " | 畜産課長 |
| 和氣 主計 | 環境衛生 | 岡山県普及振興課 | 専技主幹 | 本松 允之 | " | " 津山 " | " |
| 井上 重美 | " | 岡山県酪農試験場 | 研究員 | 寺尾 雅 | " | 岡山県養鶏加工連 | 参 事 |
| 小沢 誠一郎 | " | " | " | 仲達 毅 | 金 融 | 岡山県信連 | 副部長 |
| 井上 敏 | " | 岡山県農業共済連 | 家畜課課 | 光岡 賢二 | " | " | 部長代理 |
| 目瀬 守男 | 経 営 | 岡 山 大 学 | 助 教 授 | 才津 昭一 | " | 岡山県農業信用基金協会 | 業務課長 |
| 安増 壮一 | " | 岡山県立農業試験場 | 特別研究員 経営部長 | 元岡 寿一 | " | " | 主 事 |
| 橋本 峰陽 | " | " | 研究員 | 和田 穂積 | " | " | " |
| 甲田 齊 | " | " | " | 柴田 幸夫 | " | " | 嘱 託 |

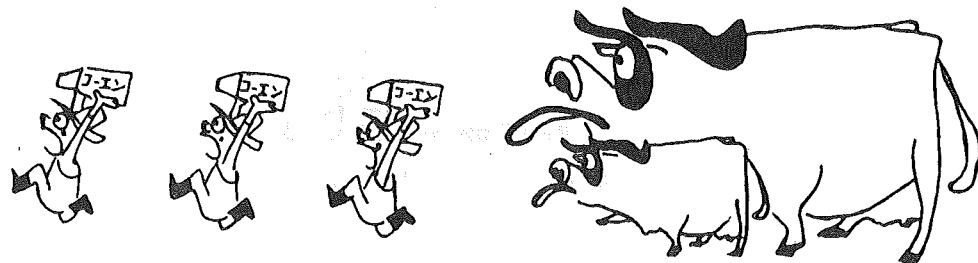
指導員名簿(昭和50年度現在)

| 振興局 | 指導地区 | 氏 名 | 所 属 | 担当畜種 | 振興局 | 指導地区 | 氏 名 | 所 属 | 担当畜種 |
|-------|------|--------|--------|------|-------|-------|--------|--------|----------------|
| 岡 山 | 加茂川町 | 岡本 務 | 加茂川町農協 | 酪 農 | 真 庭 | 湯原町 | 伴 政司 | 湯原町農協 | 肉用牛 |
| | 邑久町 | 平山 純雄 | 邑久町役場 | " | | 津山市 | 早嶋 清志 | ホクラク農協 | 酪 農 |
| | 旭酪管内 | 明石 秀明 | 旭東酪農協 | " | | 鏡野町 | 松山 真一 | 鏡野町役場 | " |
| | 建部町 | 津田 武俊 | ホクラク農協 | " | | 久米町 | 庄司 雅雄 | 久米町役場 | " |
| 倉敷 | 倉敷市 | 福島 紘道 | 水島酪農協 | 酪 農 | 上斉原村 | 山田 輝晃 | 上斉原村役場 | 肉用牛 | |
| 井 笠 | 山酪管内 | 加藤 久直 | 山陽酪農協 | 酪 農 | 勝 英 | 勝北町 | 内田 照吉 | 勝北町役場 | 酪 農 |
| | 美星町 | 三宅 光雄 | 美星町農協 | " | | 奈義町 | 鷹取 勝士 | 奈義町農協 | 養 豚 |
| | " | 山室 哲郎 | " | 養 豚 | | " | 辻 功暉 | " | 養 鶏 (フライヤー) |
| 高 梁 | 高粱市 | 佐々木 国威 | 高粱市農協 | 酪 農 | 美作町 | 黒田 和則 | 美作町役場 | 酪 農 | |
| | 川上町 | 渡辺 勇雄 | 川上町役場 | " | | " | 竹内 昇 | 美作町農協 | 養 鶏 |
| | 賀陽町 | 三尾 尊弘 | 賀陽町役場 | " | | 大原町 | 千原 昭 | 大原町農協 | " |
| 北 房 町 | 北房町 | 水島 衛 | 北房町役場 | " | | | | | |
| | 阿 新 | 榎 正樹 | 阿新農協 | 肉用牛 | | | | | |
| 真 庭 | 八束村 | 真壁 芳明 | 八束村農協 | 酪 農 | | | | | |
| | 川上村 | 池田 輝義 | 川上村役場 | " | | | | | |
| | 計 | | | | 26 地区 | | 26 人 | | |

ご存知ですか？

酪農経営 3ツのキメ手!!

- 1 乳質改善, 乳量増加に
毎日**鉍 塩**をあたえましょう。
- 2 乳房炎の撲滅は乾乳期に
必ず**乾乳用軟膏**を使いましょう。
- 3 増乳・乳質改善と栄養補給に
毎日**バイミルク**をあたえましょう。



日本全薬工業株式会社

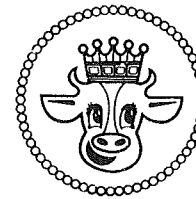
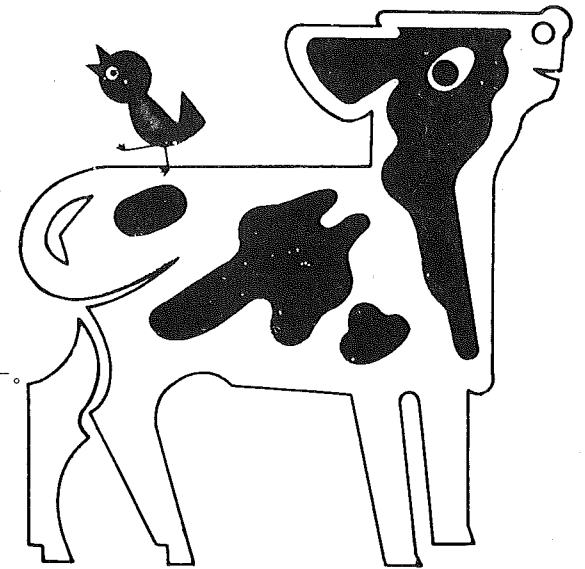
郡山市安積町笹川平の上1-1

乳は国産 エサは全酪

団結は力!
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目
 専管, 増産ふすま, 外国大麦飼料。
 カーフトップ, 脱粉飼料, カーフスターター。
 幼牛用, 搾乳用配合飼料。
 その他酪農用飼料資材全般。
 市乳, バター, チーズ, 練乳, 粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協!
全国酪農業協同組合連合会

近代農業化のための建築を

(株)石津建築設計事務所

岡山市天瀬南町3-9 TEL 22-7023

岡山畜産便り(十月号)
 第二六巻 第九号 (通巻第二百七十一号)
 昭和五十年十月二十五日発行
 発行人 花尾省治
 編集人 上原茂喜
 発行所 岡山市下石井一の六四五
 岡山県畜産会
 電話・岡山⑧八五七五番
 振替・岡山⑧八五七五番
 岡山市丸の内二の一
 ふじや高速印刷所
 電話・代表⑧四九五一番
 一部一五〇円(送料共)

編集室から
 畜産会が発足して二十周年を迎えました。これを記念しまして、十一月五日に記念式を開催すると共に、本号も記念号とし、畜産会の歴史、事業の内容及び経過などを特集させていただきました。ここに無事二十周年を迎えましたことは、ひとえに関係諸機関、諸団体、読者諸氏のご支援によるものと、深く感謝いたしております。
 今後とも畜産をとりまく諸問題に、畜産会一同骨身をおしませ努力してゆきたいと思っております。
 今後ともよろしくご支援賜りますようお願いいたします。